

1. 評価報告概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0472300052
法人名	社会福祉法人あぶくま会
事業所名	丸森町認知症高齢者グループホームやまゆりの里
所在地 (電話番号)	伊具郡丸森町館矢間山田字市子沢1 (電話) 0224-72-6340
評価機関名	特定非営利活動法人介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
所在地	仙台市宮城野区榴岡4丁目2番8号 テルウェルビル2階
訪問調査日	平成19年6月19日

【情報提供票より】平成19年6月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 11年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8	常勤	6 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 7.3

(2) 建物概要

建物形態	<input type="radio"/> 併設/単独	<input type="radio"/> 新築/改築
建物構造	木造造り	
	1 階建ての	1階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	0 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	<input type="radio"/> 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
または1日当たり 780円			

(4) 利用者の概要(6月1日 現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	1 名		
要介護3	4 名	要介護4	名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	75 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	丸森病院 仙南病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

駅の程近くに自然環境に恵まれた高台があり、福祉ゾーンがある。母体施設の特養ホームと併設のグループホームがある。公設、民営として町によって建設されたため、大部分の入居者は同町民であり家賃は無料となっている。福祉ゾーンの一角にあるということで近隣住民から特別視されがちで、グループホームが地域密着を目指すためには一段の努力と工夫が必要である。まずはグループホームとしての独自性を確立することを期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>介護計画については個別具体的なプランになっており、個別の記録にも改善の跡が見られる。入浴については、午前中を中心に週に2回となっており、前回の要改善課題への取り組みが不十分である。入居者一人ひとりの希望にあわせ介護要員のローテーションを工夫するなど改善を望みたい。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今年度から地域密着型サービスとしての外部評価となつたが、家族及び地域との関わり方について、自己評価の段階から職員一人ひとりと再検討し、取り組みを強化していただきたい。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2か月に1回開催している運営推進会議には、入居者も参加しているなど評価できる面もあるが、会議は運営状況の報告などに止まっている。ホームの立地状況などハンディのあることなので、運営推進会議のメンバーの協力を得て、地域との緊密な関係をつくりあげるよう期待する。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時に入居者の日頃の暮らしぶりを説明し、家族の意見、希望を聞くこととしているが、面会の頻度が高くないのでホームとして対応に苦心している。職員は家族と忌憚なく話し合い、相談など気軽に話し合える関係づくりを目指して努力している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>町が公設民営として設立したホームなので、町担当者、当局との関係は良好である。しかしホームの立地は住宅地から遠く地域密着の観点からして有利ではない。町の社会資源の活用を突破口として、ホーム側から積極的に働きかけることを期待したい。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は事業所独自のものであり、入居者に対する想いが表現されている。しかし、平成17年以前に作られたもので地域密着型サービスとしての理念等がもりこまれていない。	○	今年度中に全職員が参加して、地域との関係性も十分に認識した理念の見直し、作成に取り組んでいただきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	現行の理念は「のんびり」「ゆっくり」「いきいき」「私らしく」である。職員はそのことを日常のケアに具体化するよう日々努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	施設が町の中心部から離れており、付近には住宅が殆どないため、近所付き合いなど地域との交流は日常的には行なっていない。	○	ホーム側から地域に向けて目標を持って意識的に働きかける必要がある。例えば小、中学校生の体験学習へのお誘い、家族と一緒に避難・消防訓練を行なうなどホーム独自の地域への交流に向けた姿勢が望まれる。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	サービス評価の結果については職員に説明し、ケアの「気付き」の機会としての動機付けとなるようにしているが、サービス評価は結果の検討だけでなく、自己評価の段階から全職員で取り組まれることが望まれる。更に結果に基づき改善計画などを作成するようにすれば、折角の機会を十分に活かせるだろう。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族、地域代表の他に入居者も参加していることは評価できる。2か月に1回と定期的に開催し議事録もある。なお、サービス評価の結果も議題として取り上げていただくように希望したい。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	公設、民営施設として、町の財政で建設された。町担当者等との連携は非常によい。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族へ定期的に報告を行い、家族がホームを訪問した時は、日常のホームでの様子や行事での出来事を伝えている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族が訪問した時や運営推進会議への出席時などを活用して、家族の意見を引き出すようにしている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動の大部分は関連施設の特養ホームとの間で行なわれている。ホーム運営にとっても利用者にとっても、馴染みの職員によるケアがいかに大事であるかを再認識し、異動についても最小限にとどめるように、なお取り組みを期待したい。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内部での研修は受講する機会はあるが、外部での研修受講の機会が少ない。特にパート職員は研修に参加していない。	○	運営者は職員育成の重要性を再認識し、職員が研修に参加できる体制を整えていただきたい。また、研修後の報告会、勉強会にはパート職員も参加できるようにしていただきたい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修、地域の同業者と交流する機会は少ない。	○	グループホーム同士の交流、情報交換はサービスの質の向上に欠かせないものになってきている。更に職員相互派遣研修などは、職員のストレス解消にもつながるので、考慮していただきたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前の調査を充分に行ない、家族とは話しあっているが、本人が納得して入居した人は少ない。入居してからホームに馴染んでもらうよう職員は全力をあげて取り組んでいる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	入居者が畑仕事をしている時、男性入居者が台所に立つ時など、職員が教えられる場面がある。職員は入居者の得意分野を知ること良いケアにつながることを理解している。		
iii その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者の思いがけない態度、行動については、そのことがどのような背景からでているのかについて考え、意向の把握に努めている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者一人ひとりについて、介護日誌やチェックリストに基づき、具体性のあるケアプランが作られている。更に家族からの聞き取りの内容についても記録しておいていただきたい。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個別の期間に応じて見直しを行なっている。評価に基づいて目標を具体的に示し介護計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院時、個別の特別な外出等について柔軟に対応をしているが充分ではなく、これからの課題であるが、併設の特養ホームの支援を得るなどして、充分な対応をしていきたいとしているので、期待したい。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前からのかかりつけ医の受診については、入居者、家族の希望を尊重している。新たに受診する場合は入居者、家族と十分相談しながら、支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期のあり方については、話し合いを行っているが、具体的なルール、指針の確立はできていない。	○	終末期の対応については、入居者、家族、かかりつけ医、ケア関係者によって方針が共有できるようにルール、指針が必要である。まずは、ホームの指針を明確にしていきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者に対する職員の態度、言葉掛けは、ゆったりとして穏やかである。入浴時や排泄時にもプライドを損ねないケアに配慮している。個人情報の取り扱いについても職員は十分に理解し対応にあたっている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、入浴、食事時間について一定の目安はあるが、一人ひとりのペースを尊重しつつ、ケアにあたっている。安易に手をだしたり誘導したりせず、入居者の希望の採り入れを重視し、その人らしい暮らしへの支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事については提供する側(職員)と提供される側の立場ではなく、入居者と職員が一つのチームとして調理、準備、食事、後片付けと楽しい時間を共有している。食材の購入についても入居者と一緒に買い物に行くなどできれば、更によい。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週に2回であり、入居者の希望する時間帯とはなっていない。	○	入居者の希望を聞いて一人ひとりにあわせた入浴支援が毎日できるように体制を整えていただきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりが掃除機、モップでの掃除、一輪車を使うのごみ出し、畑づくり、洗濯物干しなど、それぞれの出番を見出し楽しみながら働いている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの周囲は散歩に適している。通院や町への外出は職員の車で行っているが、ホームの車でいけるような手段、体制づくりの検討をお願いしたい。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中玄関は鍵を掛けていない。入居者一人ひとりの行動の傾向を把握しており、外出は自由に任せている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	母体施設の特養ホームと合同で、年2回の防災訓練を実施している。地域の消防分団も参加し、うち1回は夜間を想定し実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	ケース記録に残食量を記入し、チェックしている。同法人の栄養士により、月に1回栄養バランス等の助言を受けている。体重チェックも週に1回実施し、健康面の支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員の入居者への声掛けのトーンは普通であり、換気や温度管理は適正に実施されている。居間には飾り付けや置物などで季節を感じ取れるよう演出している。尚、居間、食堂は間接照明で若干明るさに不足が感じられ、洗面台についても今後車椅子使用者が増えることも想定し、一工夫していただきたい。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前に使っていた箆箆を持ち込んだり、家族の写真を飾っている居室もあり、一人ひとりにあわせて支援している。入居者の個性もあって持ち込み家具など少ない居室もあるので、更にこれまで以上に、家族と相談しながら馴染みの品を持ち込んでもらい、居心地のよい環境作りを働き掛けていただきたい。		